令和８年度(2026 年度) BRIDGE 構築事業「教科等横断」推進プロジェクト　伴走支援充実事業

第２回オンライン講習レポート

令和８年７月24日（金）に、BRIDGE構築事業「教科等横断」推進プロジェクトにおける「伴走支援充実事業」第２回オンライン講習を実施しました。当日は各道立高等学校等から259名の先生方が参加しました。

１　伴走支援充実事業の趣旨

総合的な探究の時間の目標を実現するためには、生徒が主体的に学習活動を続け、自らの学びを振り返りながら、活動の質を上げることが大切であり、その際、教員が適宜、生徒に指導や支援をして、生徒の探究活動に関わることが求められています。そのため、道教委では、教員が生徒の探究活動を伴走支援する際に必要な資質能力の向上に資することを目的に、大学教員等を講師とした講習を開催しています。

２　伴走支援充実事業　第１回オンライン講習の概要

〇テーマ　「フィールドワークとデータ収集」

〇講　師　弘前大学人文社会学部　准教授　白石　壮一郎　氏

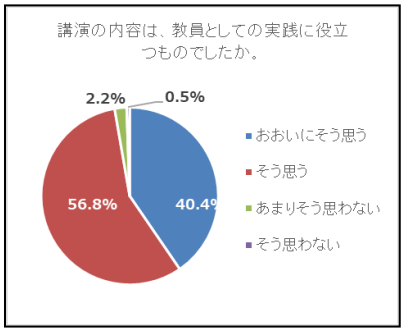
〇講　義

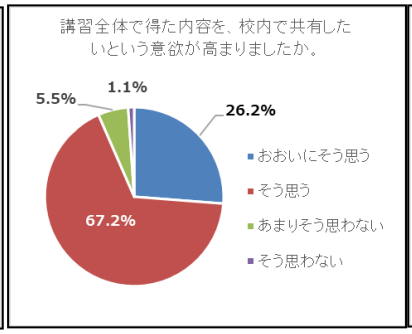
ご自身が大学の学生と共に実施しているフィールドワークの実例を紹介しながら、調査方法や記録の取り方、テーマを意識した考察の在り方などについて説明がありました。特に、調査により記録した内容については、無理に型にはめてまとめるのではなく、発見や気付きを基に、多角的に思考しながらアウトプットすることが重要であるとのお話がありました。

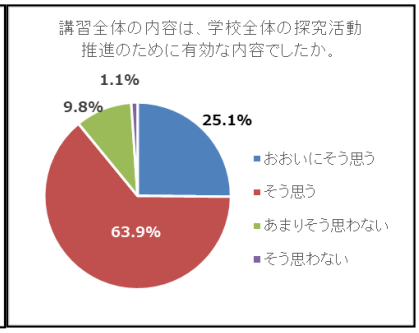
〇協　議　「各校の実態を踏まえたフィールドワークの在り方を考える」

フィールドワーク等の実施状況の共有するとともに、教育課程内で取り組むための工夫や地域・企業との連携、調査結果のアウトプット方法などについて協議しました。

３　参加者アンケート結果（一部項目のみ、令和８年７月 29 日現在、回答数 183 人）







☆参加者の感想☆

- テーマ設定やデータ収集の方法、インタビューを行う際の留意点など、フィールドワークを効果的に進めるための具体的な手法やポイントを学ぶことができた。
- 「無理にまとめすぎない」、「型にはめない」など、生徒の気付きや考える過程を大切にする探究指導の考え方を学ぶことができた。
- 自校の実態に応じて取り入れられる実践や工夫を見い出すことができた。また、探究活動の質の向上につなげたいと感じた。

【オンデマンド講習】

当日の講義をオンデマンド講習としてアップロードしています。オンデマンド講習は Plant に登録する研修の対象としていますので、オンデマンド講習の受講を希望する場合は、研修コード（「2026 教高 10」）から Plant 上で検索して、申し込んでください。

「Plant」
二次元コード